

ノーステック財団（北海道）と KAST（神奈川） が連携協定を締結

地域連携による、文科省「地域イノベーション戦略支援プログラム」の新たな展開

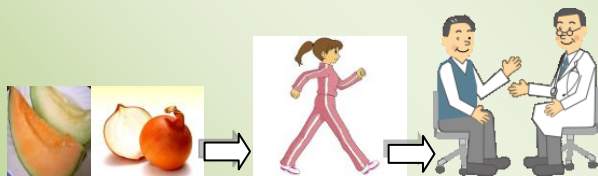
公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）と公益財団法人神奈川科学技術アカデミー(KAST)は、我が国のライフイノベーションの創生に貢献することを目的として、研究開発、人材育成及び産業振興等の活動のための連携協力に関する協定を6月1日付で締結しました。

両財団は、国の「地域イノベーション戦略支援プログラム（*1）」の総合調整機関として、「食」等のライフサイエンスをテーマとして地域の科学技術と産業の振興を進めており、地域同士が連携することで、同プログラムの推進に相乗効果を生み、全国的・国際的なライフイノベーションを創生することを目指します。

特に、食の分野では、KAST が保有する高度な食の機能性研究体制と、ノーステック財団が推進する「食」の機能性の臨床研究体制を結び、両地域の健康食材および食品の機能性を基礎研究から臨床研究までワンストップで迅速に評価することを可能とし、北海道を目指す「食」の北海道ブランド化や医療への展開として、または、神奈川を目指す高機能食品開発と産業振興に役立つことが期待されます。

ノーステック財団の取組の中から：

「『医と食の融合』による次世代高機能食品の開発に関する研究」のテーマについて、KASTとの連携を図ります。ヒト介入試験システム“江別モデル（*2）”（北海道情報大、西平教授）を活用し、食の機能性に関する科学的エビデンスを蓄積しながら、「食」「健康」領域における研究成果を健康増進・疾病予防などの「予防医療」へとシームレスに発展させるシステムの構築を目指しています。



食材

健康

医療

KAST の取組の中から：

ニュートリゲノミクス（栄養学と遺伝子科学を組み合わせた科学）を利用した食品の機能性評価法（KAST 阿部啓子リーダー）について、ノーステック財団との連携を図ります。

この評価法を、広く食品企業からの依頼を受けることのできる手法へと展開し、公的な食の評価センターの構築を目指しています。



研究

製品、マーケット開発

食卓

* 1 地域イノベーション戦略支援プログラムとは

(文部科学省ウェブサイトより抜粋)

地域イノベーション戦略推進地域に選定された地域のうち、文部科学省による支援が地域イノベーション戦略の実現へ大きく貢献すると認められる地域に対して、知的財産の形成や人材育成など、地域の主体的・自立的な活動展開に対する支援を行う事業です。

以下のメニュー（KAST注：①地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積②地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施③大学等の知のネットワークの構築④地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化）から構成されており、各地域は、これらを組み合わせる事業を実施することとなります。

文部科学省ウェブサイトURL

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chiiki/program/index.htm

* 2. 江別モデルとは

北海道産あるいは神奈川県産の食材には生活習慣病の予防や健康増進に役立つ機能成分を含むものが少なくありません。これらの食材を信頼性の高い健康食品として活用していくためには、ヒト介入試験に基づく科学的エビデンスが不可欠です。

北海道情報大学内に開設された健康情報科学研究センターでは、医師、看護師、臨床検査技師、学術担当からなるユニットを中心に、江別市内の大学や病院、公的機関と連携し、江別市民や札幌市民ボランティアの協力のもと、ヒト介入試験を実施しています。

* 3 地域イノベーション戦略推進地域とは

(文部科学省ウェブサイトより抜粋)

平成23年度から、地域イノベーションの創出に向けた地域の主体的かつ優れた構想に対して、文部科学省、経済産業省、農林水産省の3省の施策により、その実現を支援するための取組として、地域の強みや特性を活かしながら、大学等の研究機関の研究段階から事業化に至るまで、産学官等の参画機関が連携して持続的・発展的なイノベーションの創出に取り組む地域をその性質に応じ、「国際競争力強化地域」又は「研究機能・産業集積高度化地域」に選定するものです。

文部科学省ウェブサイトURL

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/07/1337205.htm

1. ノーステック財団の取組

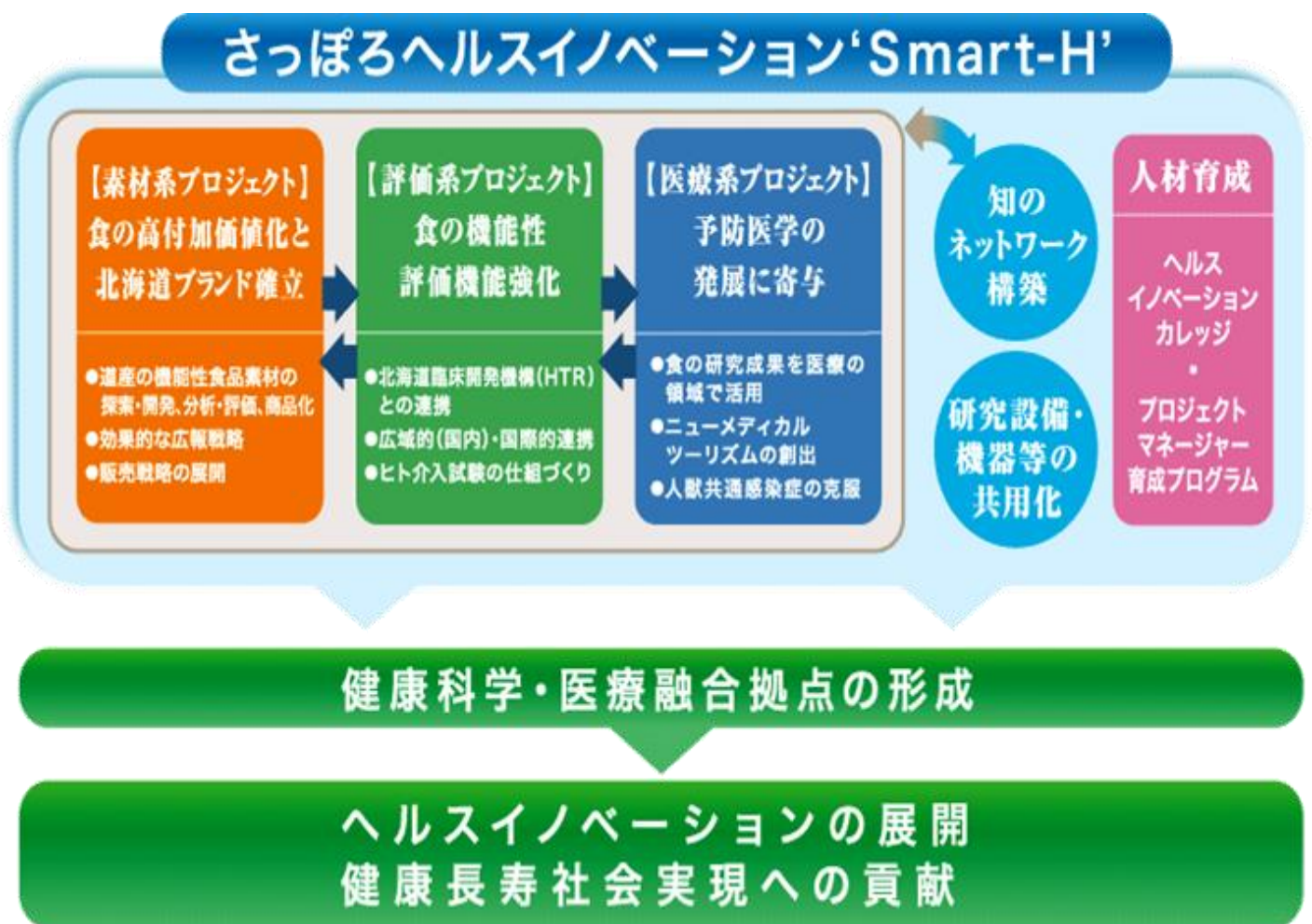
さっぽろヘルスイノベーション'Smart-H'

北海道はその清涼な気候を生かし、良質な農産物および水産資源を有する地域である。最近では、北海道産食材の機能性に着目した研究成果が北海道大学を中心に集積されつつある。

平成23年度より地域イノベーション戦略推進地域（国際競争力強化地域）（*3）に指定され、「北大リサーチ&ビジネスパーク」およびノーステック財団を中心に、①「食」の機能性に関する分析・評価拠点の機能強化、②食素材の高付加価値化と「北海道ブランド」の確立、および③予防医療や世界における共通課題克服への貢献を3本の柱とし、中核研究者の育成と研究成果の確実な事業化を目指している。

研究テーマ：詳細は以下のノーステック財団ウェブサイトを参照

http://www.healthinnovation-hokkaido.jp/res_dev/thema1.php



2. KASTの取組

神奈川県国際ライフサイエンス実用化開発拠点「革新的計測・評価技術開発によるライフイノベーション創生」神奈川県は、平成25年度に地域イノベーション戦略推進地域（国際競争力強化地域）に指定され、地域への知的資源と産業の集積を活かし、国際的な競争力を生み出す科学技術基盤の構築と、研究成果の実用化展開、先端的な研究開発をリードする人材の育成により、ライフサイエンス分野の実用化開発拠点を形成し、持続的な経済成長を牽引することを戦略として掲げた。

地域イノベーション戦略支援プログラムでは評価計測・評価技術開発とその実用化に重点化しており、食に関するテーマの中には、KAST阿部啓子プロジェクトリーダーが育成してきた、食品を専門とした解析チームによる、食品の機能性評価システムの構築がある。

これまで大学や研究所でしか使われてこなかったDNAマイクロアレイによる遺伝子発現解析手法を、企業の機能性食品開発支援に幅広く役立てることを目指している。

国資金と地域資金（神奈川県、川崎市、横浜市、大学の資金）の組み合わせ（マッチング）により構成し、運営されている。

